

# 社会 小学校用 指導カリキュラム

## 指導語い・指導表現一覧表



# 社会【小3】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 社会 小3 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 S3 中級指導 S4 上級指導
4月 5月	<p>1 わたしたちのまち みんなのまち</p> <p>1 学校のまわり</p>	<p>【用語】 白地図</p> <p>『方位[ほうい]じしん』 方位[ほうい]じしんと地図の方位[ほうい]，方位[ほうい]じしんは色のついている方が北をさします。地図はふつう北を上にして表します。</p> <p>『たんけんのやくそく』－持ち物と気をつけること (1)持ち物をわすれずにじゅんびしよう。 ・白地図 ・メモ用紙 ・えんぴつ ・方位[ほうい]じしん ・ぼうし ・ハンカチ ・水とう (2)安全をたしかめてたんけんしよう。 ・自分勝手な行動をしない。 ・きけんな場所には近よらない。 ・こまったことがあったら，すぐに先生に相談する。 (3)お話ししてくださる人の話をしっかり聞こう。 ・元気よくあいさつをしよう。 ・知りたいことを進んでしつもんしよう。</p> <p>『絵地図』－ 学校 ふみきり 川 ゆうびん局 池 病院 葉や 家のまわりや学校のまわりの様子を人につたえるには，ことばでせつめいするより，絵にかくとわかりやすくなります。方位[ほうい]や目じるし，道の様子などを絵でかいた地図を，絵地図といいます。</p> <p>『公共[こうきょう]しせつ』 学校や市役所，じどう館[かん]や公園など，みんなのためにつくられたたて物や場所を公共[こうきょう]しせつといいます。公共[こうきょう]しせつは，みんなが使う場所なので，大切にりようするひつようがあります。</p> <p>『土地の様子』 土地は，住たくや田，畑，道路など，いろいろな使われ方をしています。また，高いところやひくいところなど，さまざまです。このような土地の様子を注意してかんさつすると，地いきの様子がよくわかります。</p> <p>『方位[ほうい]と地図記号』－方位[ほうい] 東西南北 ・地図にある方位[ほうい]の記号を見て，東，西，南，北の4つの方位[ほうい]をたしかめる。</p>

		<p>・地図記号をもとに、たて物や土地の様子を読み取る。</p> <p>『主な地図記号』          学校 けいさつしょ 交番 消ぼうしょ 神社 寺 ゆうびん局 病院 橋          家の多いところ 店の多いところ 林 公園 駅 温泉[おんせん] 港 しろあと          林 あれ地 鉄道 高速道路 かもつ鉄道 高いたて物の多いところ</p>
6月 7月	1 わたしたちのまち みんなのまち  2 市のようす	<p>『八方位[ほうい]』          東西南北だけよりも、くわしく方位[ほうい]を表すことができます。</p> <p>『交通』          人やものが行き来することを交通といいます。人や車のりょうや、道路や線路がどこを通っているかなど、交通の様子に注意してしらべると、その場所の人やものの動きがわかります。</p> <p>『港』          港には、遠くからたくさんの船が入ってきて、いろいろなものを運んできます。反対に、船でいろいろなものを遠くへ送ることもできます。</p> <p>『田畑』          田では米を、畑では主にやさいをつくります。おいしい米ややさいをつくるためには、きれいな水がひつようなので、田畑は川ぞいや池の近くの平らな土地に多く見られます。</p> <p>『森林』          森林は、山のしゃめんや小高いところに多く見られます。森林の多い場所には、ゆたかな自然[しぜん]をいかしたかん光地や公園など、いこいの場としてりようされているところもあります。</p>
9月 10月	2 はたらく人とわたしたちのくらし  1 店ではたらく人	<p>【用語】 近所の店 スーパーマーケット 商店がい 八百屋 肉屋 大がたせんもん店          コンビニエンスストア ちゅう車場 品物 はたらく人 インタビュー          魚売り場 パッケージ ねふだ だんボール シール 地元コーナー          トラックからの荷おろし こうこくのちらし 薬や日用品の店 リサイクル          レジぶくろ フリーマーケット</p> <p>『品しつ』          やさいやくだもののおいしさや新せんさなど品物のよしあしを品しつといいます。店は品しつのよい品物を売ることによって、お客さんに信用[しんよう]されるようになります。</p> <p>『産地[さんち]』          やさいやくだもの、肉や魚などの、つくられた場所やとれた場所のことを産地[さんち]といいます。産地[さんち]が書いてあれば、どこでつくられているものかがわかります。</p>

		<p>『サービス』 店では、お客さんのねがいにこたえられるように、くふうや努力[どりょく]をしています。そのくふうや努力[どりょく]をサービスといい、店によってさまざまなサービスがあります。</p> <p>『地いきこうけん』 品物を売るだけでなく、地いきの人々に役に立つようにすることです。地いきこうけんをすることで、店も地いきの人々に大切にされます。</p>
11月	<p>2 はたらく人とわたしたちの暮らし</p> <p>2 農家の仕事</p>	<p>【用語】 やさい ぼうグラフ 市の主なやさいのとれ高 ビニールハウス とり入れ 箱づめ</p> <p>『自然[しぜん]のめぐみ』 まがりねぎは、川の水やよくこえた土、日光などをいかしながらつくられています。また、きせつによっていろいろな作業をしています。このように農家では、自然[しぜん]のめぐみをいかしながら作物を育てています。</p>
12月	<p>2 はたらく人とわたしたちの暮らし</p> <p>3 工場のしごと</p>	<p>【用語】 たくはいびん</p> <p>『原料[げんりょう]』 あるものをつくるときの、そのもとになる材料[ざいりょう]を原料[げんりょう]といいます。工場では、原料[げんりょう]に手をくわえて、さまざまなものをつくっています。</p>
1月 2月 3月	<p>3 かわってきた人々の暮らし</p> <p>1 古い道具と昔の暮らし</p>	<p>【用語】 年表 おどり 祭り カルタ 地いきの行事 『古い道具』 ランプ せんたく板 たらい 昔のアイロン かまど ガスコンロ</p> <p>『道具』 わたしたちは、昔も今も、毎日の暮らしの中でたくさんの道具を使っています。道具は、暮らしをよりよくかえようとする人々のねがいとともにかわってきました。</p>
	<p>3 かわってきた人々の暮らし</p> <p>2 のこしたいもの つたえたいもの</p>	<p>『文化ざい』 地いきには、人々が大切につたえてきた文化ざいがのこされています。その中には、国、県、市などがしっかりとほぞんしていくことを決めたものもあります。</p> <p>『祭り』 地いきには、人々が受けていできた祭りがあります。祭りをとおして、人々は元気になり、おたがいのむすびつきが強まります。</p> <p>『きょう土げいのう』 きょう土げいのうには、いわれがあります。歌やおどりのひとつひとつに意味があり、受けついできた人たちの思いやねがいがこめられています。</p>

## 社会『小4』 指導カリキュラム (指導語い・表現)一覧表

教科 社会 小4 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 S3 中級指導 S4 上級指導
4月	4 暮らしを守る  1 火事から暮らしを守る	<p>【用語】 安全教室 自転車訓練 火事 119番 消防[しょうぼう]自動車 消防[しょうぼう]しょ 消防士[しょうぼうし] 出動 消火活動 救急車 ※ かみん室から出る→防火服[ぼうかふく]を着る→消防[しょうぼう]自動車に乗る 消防団[しょうぼうだん] まちの消防[しょうぼう]しせつー消火せん, 防火[ぼうか]水そう ひなん場所 消防団[しょうぼうだん]の倉庫 器[き]具の点検[てんけん] ガスもれの点検[てんけん] 住たく用火災[かさい]けいほう器[き] 調べ学習ーメール インターネット</p> <p>『訓練・点検[てんけん]』 消防[しょうぼう]の仕事は, はやく, 确实[かくじつ]に, そして安全に行うことが大切です。消防士[しょうぼうし]は, ふだんから消火や救助の訓練をしたり, 消防[しょうぼう]自動車や道具などの点検[てんけん]をしたりして, 火事にそなえています。</p> <p>『協力』 火事ときは, 消防[しょうぼう]しょだけでなく, けいさつしょ, 役所, 病院, 電気会社, ガス会社, 水道局などの関係するところが, はやく, 安全に消火や救助ができるように協力します。</p> <p>『通信指令室』 119番の電話がつながるところが消防[しょうぼう]本部の通信指令室です。火事なのか救急なのか, 火事の場所などをたしかめて消防[しょうぼう]しょに出動を指令したり, ほかの関係するところにもれんらくを入れたりします。</p> <p>『消防[しょうぼう]しせつ』 消火せんや防火[ぼうか]水そうのように消火活動に使うものや, ひなん場所のように火事から人を守るために必要なものです。場所, 数, 大きさなどをくふうしています。</p> <p>『消防団[しょうぼうだん]』 地いきの人たちがつくるそしきで, 火事などの災害[さいがい]のときに消防[しょうぼう]しょと協力します。団員[だんいん]は, ふだんは, それぞれが別な仕事をしていて, いざというときに活動します。自分たちの地いきは, 自分たちで守るという考え方にもとづいています。</p>
5月	4 暮らしを守る	<p>【用語】 交通事故[じこ] 飛び出し 信号むし 道での遊び まわりの安全をたしかめない</p>

2 事故[じこ]や事件[じけん]からくらしを守る

じょ行をしない けいさつへの通報[つうほう] 110番 交通整理 自転車  
事故[じこ]の現場[げんば] 放置禁止[きんし] 道路交通法 かん板 けいさつしょ  
けいさつ官 生活安全課 パトロールカー 白バイ 自転車パトロール  
けいほうシステム

『通報[つうほう]』

110番の電話は、けいさつ本部の通信指令室につながります。事故[じこ]の様子や場所などを、落ち着いて、正かくに伝えることが大切です。

『法やきまり』

交通に関する法やきまりは、安心して毎日を送るために大切なものの一つです。より安全な生活のために、法やきまりをみんなで考え、大切にしていける努力が欠かせません。

『交番(KOBAN)』

身近な交番で働くけいさつ官は、事故[じこ]や事件[じけん]の現場[げんば]にかけついたり、ふだんからパトロールをしたりして、まちの安全を守ります。日本のまちが安全なのは、交番(KOBAN)があるからだ、外国のけいさつが注目しています。

『こども110番』

いざというときに、子どもたちが助けを求められるようにしている店や家などがふえてきました。けいさつと協力して、地いきの人たちも、より安全なまちづくりに参加しています。

『まちの安全マップ』

多くの学校や町内会などは、あぶない場所や安全な場所を書き入れた安全マップをつくっています。地いきの安全マップは、子どもたちにとっても事故[じこ]や事件[じけん]をふせぐことに役立ちます。

6月  
7月

5 住みよいくらしをつくる

1 水はどこから

【用語】 水不足 給水せいげん じゃろ 水道管 雨水 水道メーター じょう水場  
水を消毒する 有害な物質[ぶっしつ] 活せい炭 森林-「緑のダム」、「白いダム」

『しげん』

わたしたちの生活や産業などをささえる、大切なもののことです。例えば、水不足のように、しげんが不足すると、わたしたちの生活に大きなえいきょうが出ます。

『給水とじょう水』

水を家庭や学校までとどけることを給水といいます。また、水を安心して飲めるようにきれいにすることをじょう水といいます。給水やじょう水の働きのおかげで、わたしたちは生活に欠かせない水を得ています。

『じょう水場』

きれいな水をつくる工場の役目を果たしています。最近では、「より安全で」「おいしい」水をつくる

ことにも力を入れるようになってきました。そのために、機械やせつびのくふうだけでなく、働く人もいろいろなくふうをしています。

『水質[すいしつ]けんさ』

水道の水質[すいしつ]は、水道法という法りつで決められています。飲んでも体に害がないかというきじゆんをつくり、じょう水場で、細きん、にごり、におい、有害物質[ぶっしつ]をけんさします。水道の水は、こうしたけんさを受けた安全なものです。

『ダム』

川の上流に計画的にダムがつくられ、水不足の心配がへりました。ダムは川の水量を調節したり、水力発電に利明されたりしています。ダムの建設[けんせつ]は、国や市などの行政[ぎょうせい]と地いきの住民がよく話し合い、計画的に進められます。

『水げんの森』

日本は、水が手に入りやすい国といわれています。その理由の一つに、ゆたかな森にめぐまれていることがあげられます。水げんの森を守ることは、わたしたちのくらしを守ることにともつながっています。

9月 5 住みよいくらしをつくる  
2 ごみのしよりと利用

【用語】 ごみ置き場 再利用[さいりょう] せいそう工場 しげん化センター マイバッグ  
レジぶくろ有料化 エコタウン 発電-火力, 原子力, 水力, 太陽光, 風力

『分別』

ごみを種類ごとに分けて出すことで、ごみをすべてもやすのではなく、しげんとして利用できるものを取り出します。たくさんあるごみをへらすための第一歩です。

(分別の種類)

- ・ びん・かん・ペットボトル
- ・ 古紙
- ・ もやすごみ
- ・ もえないごみ
- ・ 小さな金ぞく
- ・ そ大ごみ

『せいそう工場』

クリーンセンターとよぶ地いきもあります。中央せいぎょ室で管理し、少ない人数でも、ごみしよりができます。ごみをもやした熱は、工場で使う電気をつくる役目も果たしています。

『しよぶん場』

ごみをもやしても、すべてなくなるわけではありません。ごみをもやしたはいの一部や、もやせないごみは、しよぶん場にうめます。しかし、しよぶん場をつくることのできる数や広さには、かぎり

があります。

『リサイクル』

ごみをすべてもやすのではなく、つくり直したり、原料にもどしたりして、ふたたび使えるようにします。ごみをへらすことになるだけでなく、大切なしげんを節約することにもつながります。

『家電リサイクル法』

エアコン、テレビ、電気れいぞう庫、電気れいとう庫、電気せんたく機、衣類かんそう機を、小売店などが回しゅうし、メーカーがリサイクルすると決めています。これとは別に、パソコンは、メーカーが回しゅうし、リサイクルすることになっています。

『3R』

使い終わったあとに、ごみにならないような、ものづくり方や売り方をすることを『リデュース』、もう一度使うことを『リユース』といいます。『リサイクル』とともに、3Rといわれています。

10月  
11月

6 きょう土を開く

【用語】 用水 寒天づくり いせき 博物館

『等高線』

(1)等高線について

地図上で同じ高さの場所を線で結び、それを上からながめたものが等高線です。

(2)地図を見るとき

① 地図上の場所が、どのくらいの高さなのかを読み取る。

② 等高線の間かくによって、土地のかたむきを読み取る。

『尾根[おね]と谷』

山の頂上[ちょうじょう]から見て、等高線が外側にふくらんでいるところは、尾根[おね]を表しています。反対に内側にくぼんでいるところは、谷を表しています。

【用語】 土や石を運ぶ――― もっこ さどみ  
土や石をつめて土手をつくる― たわら  
土をかきよせる――― じょれん  
土をほる――― くわ  
くいを打つ――― かけや

『用水』

人々の生活や農業・工業などに使うための水や水路のことです。水が少ない地いきでは、遠くから水を引いてくる必要があります。用水を開くには、しっかりした計画と地いきの人々の協力が大切です。

『ひでり』

		<p>長い間、雨がふらずに、水がかれること。</p> <p>『水あらい』      飲み水のほか、米や野菜をつくるにも水が必要です。自分たちの水を守るために、ほかの地いきの人たちとあらそうことがあります。ときには、命がけのあらそいになることもあります。</p> <p>『博物館』      自然、地理、歴史、くらし、文化産業などをしょうかいするしせつで、市や県がつくった博物館は、地いきの特色を調べるのに役立ちます。きょう土館や歴史館とよばれることもあり、国がつくる大きな博物館もあります。</p> <p>『水を回す』      水の多い地いきから水の少ない地いきへ水を回すことで、広い地いきの人々が水を利用できるようになります。そのためには、地いき全体の協力が欠かせません。</p> <p>『開発』      用水を引いたり農地を開いたりして、地いきの人々の生活をよみがえらせたり、新しい生活の場をつくったりすることです。開発を成功させるには、しっかりした計画と人々の理解[りかい]や協力が必要です。</p>
12月 1月	7 わたしたちの県  1 県の広がり	<p>『47都道府県』      北海道・東北地方 関東地方 中部地方 近畿[きんき]地方 中国・四国地方 九州地方</p> <p>『地形』      地形には、山地・平地・海岸などがあります。土地の高さや広さに注目して断面図[だんめんず]をつくったり、地図や衛星[えいせい]写真などを使って、県内のどこにどんな地形が見られるのかを調べたりすることで、県の特色が見えてきます。</p> <p>『土地利用』      地形や気候などの自然じょうけんを生かして土地を利用することで、くらしや産業のはってんにつなげることができます。土地利用の様子を調べると、その地いきのくらしや産業のくふうが見えてきます。</p> <p>『県庁[けんちょう]所在地[しょざいち]』      県の政治[せいじ]を行う県庁[けんちょう]がある都市です。県の中心として多くの人が集まります。県とちがう名前の県庁[ちょう]所在地[しょざいち]は、47都道府県の中で17(埼玉県[さいたまけん]さいたま市をふくめれば18)都市あります。</p> <p>『交通』      交通は、人やものを運ぶための大切な働きです。多くの人やものが集まる都市には、多くの交通路</p>

が集まって、人やものの動きをささえています。

#### 『産業』

農業や水産業、工業、商業など、社会をささえるさまざまな仕事のことを産業といいます。地いきの産業は、その地いきの自然や文化、伝統[でんとう]などの特色と深いつながりがあります。

2月 7 わたしたちの県  
2 特色ある地いき  
と人々の暮らし

#### 『自然かんきょう』

コウノトリだけでなく、生き物はみな、住む土地の自然かんきょうにささえられて生きています。自然がこわされると、そこにいる生き物の種類や数がへってしまうことがあります。

#### 『共に生きる』

豊岡[とよおか]は「コウノトリにやさしいかんきょうは、人にもやさしい」を合言葉に、コウノトリをよみがえらせ、安全な米や野菜づくりをしています。よりよいかんきょうを求め、人と動植物が共に生きるまちづくりを進めています。

#### 『農産物のさいばい面積』

ヘクタールー100m四方の土地の広さを1ヘクタール(ha)といいます。

#### 『特産品』

地形、気候、原料、伝統[でんとう]などの地いきの特色を生かしてつくられたもので、まちのはってんに役立ちます。おくり物として喜ばれたり、それを目当てに遠くからおとずれる観光客もいます。

#### 『世界遺産[いさん](世界文化遺産[ぶんかいさん])』

世界の国々の取り決めによって選ばれた、世界の宝です。姫路城[ひめじじょう]のような文化遺産[ぶんかいさん]のほかに、自然遺産[いさん]や、その両方にあてはまる複合[ふくごう]遺産[いさん]があります。

- ・ 白神山地(青森県・秋田県)
- ・ 巖島[いつくしま]神社(広島県)

#### 『守り伝える』

姫路市[ひめじし]では、まちの宝である姫路城[ひめじじょう]を大切に守り伝えたいという人々の願いと力があって、何度も修理[しゅうり]を重ねてきました。こうした努力があって、地いきがよりよいものとなり、世界文化遺産[ぶんかいさん]の登録に結びついています。

#### 『ボランティア』

ボランティアをする人たちは、地いきをよりよくしたいこまっている人や社会の役に立ちたいなどの願いをもっています。ボランティアの活動を通して、自分にとっての生きがいが見つかることもあります。

#### 『伝統的[でんとうてき]な産業』

地いきの自然や古くから伝わるぎじゅつを生かして、長く受けつがれてきた産業のことです。地いきの人々の暮らしをささえています。伝統的[でんとうてき]な産業としてつくられるものは、特産品と

		<p>して親しまれ、県の内外に愛好する人たちがいます。焼き物づくりは各地に多く見られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南部鉄器</li> <li>・ 輪島塗[わじまぬり]</li> </ul> <p>『原料と燃料[ねんりょう]』      ものをつくるには、土などの原料や燃料[ねんりょう]を手に入れやすいことが大切です。伝統的[でんとうてき]な産業では、地元で手に入る原料や燃料[ねんりょう]を生かして、ものづくりをしている例が、多く見られます。</p> <p>『伝統的[でんとうてき]なぎじゅつ』      伝統的[でんとうてき]な産業は手づくりで行われることが多く、昔から受けつがれてきたなぎじゅつをもった職人[しょくにん]にささえられています。伝統的[でんとうてき]なぎじゅつを若い[わかい]職人[しょくにん]に伝えていくことも大切です。</p> <p>『せん伝』      せん伝によって、品物に関心をもったり、ほしいと思ったりする人がふえます。特産品については、地いきの人々が協力して、せん伝に取り組むすがたがよく見られます。最近では、インターネットの役目も大きくなっています。</p>
3月	<p>7 わたしたちの県</p> <p>3 世界とつながる わたしたちの 県</p>	<p>【用語】 港 国旗</p> <p>『ぼうえき』      外国と、さまざまなものを売り買いすることです。日本は、ぼうえきがさかんな国で、神戸港は、日本の中でも中心的な働きをしているぼうえき港の一つです。</p> <p>『姉妹都市』      かんきょうや歴史がにているなど、つながりが深い都市どうしが、交流を目的に結びついて、おたがいの理解[りかい]を深め、助け合う働きをしています。有名な城[しろ]や橋どうしが姉妹関係を結ぶ例もあります。</p>

# 社会『小5』 指導カリキュラム (指導語い・表現)一覧表

教科 社会 小5 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 S3 中級指導 S4 上級指導
4月	1 わたしたちの国土  1 世界の中の国土	<p>【用語】 地球儀[ちきゅうぎ] 地図帳 緯度[いど]と経度 経線(たての線), 緯線[いせん](横の線)                      グリニッジ天文台 北極 南極 ユーラシア大陸 南・北アメリカ大陸                      アフリカ大陸 オーストラリア大陸 太平洋 大西洋 インド洋                      北半球 南半球 東半球 西半球</p> <p>『北半球』 イギリス フランス ドイツ カナダ アメリカ合衆国[がっしゅうこく]                      エジプト</p> <p>『南半球』 サウジアラビア 南アフリカ共和国 中華人民共和国[ちゅうかじんみんきょうわこく]                      オーストラリア ニュージーランド アルゼンチン ブラジル</p> <p>『日本のまわりのある国々』                      モンゴル国 ロシア連邦[れんぽう] 朝鮮[ちようせん]民主主義人民共和国                      大韓民国[だいかんみんこく] 中華人民共和国[ちゅうかじんみんきょうわこく]                      ベトナム社会主義共和国 フィリピン共和国</p> <p>【用語】 西のはしー与那国島[よなぐにじま] 南のはしー沖ノ鳥島[おきのとりしま]                      東のはしー南鳥島 北のはしー択捉島[えとろふとう]</p> <p>『領土』                      その国のもつ陸地と、陸地に囲まれた湖や川などを合わせて領土といいます。また、海岸から12海里(約22km)までの海は、領海とよばれます。</p> <p>『国旗』                      日本の国旗, 日の丸は, 日章旗といわれ, 白地に太陽が赤くかがやいている様子を表しています。大韓民国[だいかんみんこく]の国旗は, 古くから信じられ, 大切にされている教えを図に表したもので, まん中の円は宇宙[うちゅう]を表しています。どの国の国旗にもそれぞれ大切な意味や由来があり, 自国はもちろん, ほかの国の国旗も大切にすることが必要です。</p>
5月	1 わたしたちの国土  2 国土の地形の特色と人々の暮らし	<p>『地形の分類』                      山脈 山地 高地 高原 盆地[ぼんち] 台地 平野 火山の国 日本                      低地の暮らし あたたかい土地の暮らし 山地の暮らし 高原の暮らし                      寒い土地の暮らし 雪国の暮らし</p> <p>【用語】 かまくら 流雪こう 雪おろし                      【用語】 アイヌ</p>

		<p>【用語】 水屋 排水機[はいすいき]場</p> <p>『輪中』 輪中の「輪」は、土地を囲むていぼうの形だけではなく、水害からくらしを守るための人々のつながりも表しているといわれています。</p> <p>『治水』 川の流れや水路などを改良して水害を防ぎ、水をくらしや産業に利用できるようにすることを、治水といいます。</p> <p>『自然条件』 人々のくらしは、地形気候などの自然条件と深くかかわっています。自然条件とのつながりに目を向けると、くらしのくふうや特色が見えてきます。</p>
6月	<p>1 わたしたちの国土</p> <p>3 国土の気候の特色と人々のくらし</p>	<p>『つゆと台風』 6月の中ごろから7月にかけて、日本列島の大部分は雨雲におおわれ、いく日も雨がふり続きます。これがつゆです。また、夏から秋にかけて、日本は台風におそわれ、強い風とたくさんの雨で各地に大きな被害[ひがい]が出ます。しかし、つゆや台風の雨は、農業用水や飲料水の確保には欠かせないものになっています。</p> <p>『台風』 沖縄県[おきなわけん]には、太平洋の赤道付近で生まれ、発達した台風が来ます。電柱がたおれて停電になったり、作物がだめになったりするなどの被害[ひがい]が出ることがあります。</p> <p>『促成[そくせい]栽培[さいばい]・抑制[よくせい]栽培[さいばい]』 しゅんの時期とずらした時期に出荷[しゅっか]して、よりよいねだんで売ることをめざして行います。沖縄県[おきなわけん]はあたたかく、促成[そくせい]栽培[さいばい]や抑制[よくせい]栽培[さいばい]に向いています。</p> <p>『文化』 地域[ちいき]のくらしの中で、わたしたちの祖先が長い時間をかけて作りあげた習慣やくらし方もの見方などのことです。伝統的な行事や言葉、衣食住なども文化です。</p>
7月	<p>2 わたしたちの生活と食料生産</p> <p>1 米づくりのさかんな庄[しょう]内平野</p>	<p>『米, 稲[いね], 水田』 米は稲[いね]の実です。日本で育てられる稲[いね]は、多くの水を必要とする品種が多いです。この品種の稲[いね]を水稻[すいとう]とよびます。</p> <p>『%』 「パーセント」と読みます。1%は100分の1を表します。</p>

### 『耕地』

田と畑と牧場を合わせて耕地といいます。

### 『ほ場整備』

せまい田を集めて広くして、田のかたちを整えたり、用水路や排水路[はいすいろ]農道などを整備したりすることです。

### 『季節風』

季節によって風向きがちがうことで、さまざまな気候の変化をもたらします。豊かな雪解け水や「宝[たから]の風」は、季節風による自然のめぐみといえます。

### 『土地利用図』

土地がどのような使われ方をしているかを表した地図のことです。土地利用図を見ると、その地域[ちいき]のくらしや産業の様子がわかります。

### 『専業[せんぎょう]農家』

農業以外で働いている家族がだれもない農家のことです。農業以外で働いている人がいる農家を兼業[けんぎょう]農家とよびます。

### 『ビニールハウス』

### 『稲[いね]の生長と米づくりの様子』

3月 種もみを選ぶ  
4月 たい肥をまく 田おこし 代かき[しろかき]  
5月 田植え  
6月 生育調査(稲[いね]の生長を調べる)  
7月 農薬散布(農薬をまく)  
8月 穂[ほ]が出る  
9月 稲かり[いねかり] だっこく かんそう もみすり  
10月 たい肥づくり

### 『共同作業』

例えば、農薬をそれぞれの農家が自分の田だけまこうとすると、農薬をまく機械を全て[すべて]の農家が持たなくてはいけないなど、効率がよくありません。ですから、共同で機械を持つほうがよいのです。

### 『農業協同組合(J A)』

J Aは農家を中心とした集まりです。地域[ちいき]全体のさいばい計画を立てたり、技術の指導をしたり、農機具や肥料の販売[はんばい]をしたりします。

『品種改良』  
いろいろな品種のよいところを集めて、新しい品種をつくり出すことです。大きな実のなる果物や、成長の早い家畜[かちく]などを人工的につくり出すこともできますが、健康へのえいきょうを心配する声もあります。

『食料基地』  
食料の生産が多く、全国に食料を送り出しているところを食料基地といいます。北海道、東北、北陸地方は、日本の代表的な食料基地です。

『生産調整』  
水田を減らして生産量をおさえる政策[せいさく]のことで、1969(昭和44)年に始まりました。米以外の作物を育てる「転作」がうまく進まない、水田があれたままになることもあります。

9月 2 わたしたちの生活と食料生産

【用語】 水産業 漁港 水あげ量 一本づり まきあみ漁 漁業協同組合 養しよく  
さいばい漁業 稚魚[ちぎょ] 放流 消費地 市場 せり

2 水産業のさかなな静岡県[しずおかけん]

『漁業の分類』  
・遠洋漁業—遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行われる漁業。  
・沖合漁業[おきあいぎょぎょう]—10t以上の船を使って、数日ばかりで行われる漁業。  
・沿岸[えんがん]漁業—10t未満の船を使って行う漁や、定置あみ、地引きあみ漁業のこと。  
養しよく業もその一つ。

『水産加工団地』  
40年ほど前、加工工場からのおいやごみが出るという苦情が多くよせられ、それを防ぐことも団地がつくられた理由のひとつです。ごみや、あらったあとの水などを共同で処理[しより]する施設[しせつ]もつくられています。

『200海里』  
1977(昭和52)年ころから、沿岸[えんがん]から200海里(約370km)の海は、外国の船がとる魚の量がきびしく制限されました。そのかわり、自国は資源[しげん]の管理や水のごれの防止が求められます。

『トレーサビリティ』  
どこで、どんなえさを食べさせて、どんな薬を飲ませたかきちんと記録して明らかにしています。つくる人は自信をもって出荷[しゅっか]できますし、買う人は安心できます。

『トラック輸送』  
魚は、生きているほうが高く買ってもらえるので、いけすに酸素を入れられるようにくふうしている輸送用トラックもあります。

		<p>『持続可能な開発』 資源[しげん]をほどよく使い，環境[かんきょう]を守ることで，今の世代も満足して過ごし，次の世代も満足してすごせるような開発をしていこうという考え方のことです。</p> <p>『魚つき保安林』 魚が海岸近くにある定置網[ていちあみ]までくるように育てた林です。土砂[どしゃ]の流出を防ぐ，風を防いで波立たせない，明かりを水面に当てない，という役わりがあります。</p>
10月	<p>2 わたしたちの生活と食料生産</p> <p>3 これからの食料生産とわたしたち</p>	<p>【用語】 日本産の生産者価格と外国産の輸入価格 消費者 産地 耕作 耕作放棄[ほうき]地(何年も耕作していない田畑)</p> <p>『食料自給率』 わたしたちが，食べる食料のうち，国内で生産されているわりあいを示したもので，重さや熱量(カロリー)，生産額からみるものがあります。</p> <p>『地産地消』 遠いところから食料を運んでくるよりも，なるべく住んでいる土地のそばでとられた食料を使うのが望ましいという考え方にもとづいて，地産地消の動きは進められています。</p> <p>『環境[かんきょう]保全』 環境[かんきょう]を保護して，人間や動物などが生活しやすいようにすることです。品質のよい食料を生産するためには，水や土などがよい環境[かんきょう]であることが必要です。</p>
10月	<p>3 わたしたちの生活と工業生産</p> <p>1 自動車をつくる工業</p>	<p>『工業』 工業とは，ものに道具や機械を使って手を加え，形や性質を変えて人の役に立つものをつくる産業のことです。つくられた製品によって，いくつかの種類に分類できます。</p> <p>『工業製品』 原材料 → 機械，金属，食料品，石油化学，せんい</p> <p>『自動車づくりー組み立て工場』 ・プレス → ようせつ → とそう → 『組み立てライン』 → 『検査』</p> <p>『組み立てライン』 一定のはやさで進むラインの上で，作業を分たんすることで，正確に自動車が組み立てられます。</p> <p>『組み立て工場』 自動車は，細かいねじなども合わせて約3万個の部品からできていて，組み立て工場では，エンジンなどのある程度まとまった部品を組み立てます。</p> <p>『関連工場』</p>

自動車に必要な部品をつかって組み立て工場におさめています。組み立て工場は、必要なときに必要な量だけ部品を注文するので、余分な部品をもたずにすみますが、一つの関連工場の生産が止まってしまうだけで自動車の組み立てができないおそれがあります。

『部品の流れ』

・細かな部品をつくる工場 → 小さな部品をつくる工場 → 部品をつくる工場 → 組み立て工場

『トラック輸送』

自動車の輸送に用いられるキャリアカーは、1台の車をのせるタイプから8台ほどを積むものがあります。

『ニーズ』

人が何かをしたいと思うことで、自動車の場合、乗りやすい、人を多く乗せたいなど、さまざまです。

『社会や消費者のニーズ』

社会や消費者のニーズは変わり続けています。新しい車を開発するとき、社会や消費者のニーズに合った車をつくる努力をしています。

『環境[かんきょう]にやさしい自動車』

排出[はいしゅつ]ガスが大気おせんや地球温暖化[おんだんか]の原因

・ハイブリッドカー 燃料電池自動車 電気自動車

『自動車のリサイクル』

自動車会社と消費者が協力して、自動車のリサイクルを積極的に進めるための法律[ほうりつ]が定められました。現在、自動車の部品の90%以上がリサイクルされています。

11月 3 わたしたちの生活  
と工業生産

2 工業生産と工業  
地域[ちいき]

『工業地域[ちいき]』

多くの工場が集まり、工業生産がさかんな地域[ちいき]を工業地域[ちいき]といいます。その中でも特に帯のようにつながっているところを工業地帯といいます。

「太平洋ベルト」

- ・中京工業地帯(愛知県, 三重県)
- ・京浜[けいひん]工業地帯(東京都, 神奈川県[かながわけん])
- ・阪神[はんしん]工業地帯(大阪府[おおさかふ], 兵庫県)

- ・東海工業地域[ちいき](静岡県[しずおかけん])
- ・京葉[けいよう]工業地域[ちいき](千葉県)
- ・関東内陸工業地域[ちいき](栃木[とちぎ]・群馬・埼玉県[さいたまけん])
- ・北陸工業地域[ちいき](新潟[にいがた]・富山・石川・福井県[ふくいけん])

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内[せとうち]工業地域[ちいき](岡山[おかやま]・広島・山口・香川[かがわ]・愛媛県[えひめけん])</li> <li>・北九州工業地域[ちいき](福岡県[ふくおかけん])</li> </ul> <p>『中小工場』 従業員[じゅうぎょういん]が300人未満の工場のことです。たのまれたらすばやくものがつくれることや、高い技術のものを少しだけつくれることなど、大工場にはないよさがあります。</p> <p>『物流』 生産されたものが、決められた時間、決められた場所に相手にとどくしくみのことです。運ぶ仕事だけではなく、保管や運ぶ準備作業などもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックによる輸送(トラックターミナル)</li> <li>・飛行機による輸送</li> <li>・貨物列車による輸送</li> <li>・貨物船による輸送</li> </ul>
11月	<p>3 わたしたちの生活と工業生産</p> <p>3 工業生産と貿易</p>	<p>『貿易』 国どうしの商品の売買のことです。</p> <p>『輸入』 商品を外国から買うことです。</p> <p>『輸出』 商品を外国に売ることです。</p> <p>『加工貿易』 昭和30年代輸入額が増え、日本の経済[けいざい]が大きく成長したのは、外国から原料を輸入し、すぐれた技術で加工して外国に安く売ることができたからなのです。</p> <p>『自由な貿易』 自由な貿易によって、より多くのものが行きかうことで、貿易の相手どうしがより豊かになることが望まれます。</p>
12月	<p>4 情報化した社会とわたしたちの生活</p> <p>1 情報産業とわたしたちの暮らし</p>	<p>『情報』 あるものごとや内容についての知らせのことです。まわりから受け取る情報もあれば自分からまわりに出す情報もあります。</p> <p>『情報を伝える方法』 テレビやざっしから、電話や紙まで、さまざまな方法があります。</p> <p>『マスメディア』 情報を送る方法のことを、メディアといいます。そのなかでも、テレビや新聞などのように、同じ情報を送り手から多くの人に一度に送る方法のことをマスメディアといいます。</p>

		<p>・テレビ 新聞 ラジオ ざっし インターネット</p> <p>『民間放送』      コマーシャルを放送して得られる広告(コマーシャル)料によって運営されています。</p> <p>『公共放送』      日本放送協会(NHK)は、しちょう者が払う[はらう]受信料によって運営される公共放送です。</p> <p>『地上デジタル放送』      ・多チャンネル きれいな映像[えいぞう] 高齢者[こうれいしゃ]にやさしい放送 データ放送      双方向[そうほうこう]の発信</p> <p>『双方向[そうほうこう]』      情報を伝える方向が一方向でなく、受け取る側からも発信できることをいいます。見ている側がテレビのクイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりできるようになりました。</p> <p>『報道被害[ひがい]』      事実とちがう報道や大げさな報道によって悪者にされてしまうと、疑い[うたがい]が晴れても生活や仕事に不利益を受けたり、たいへんな心のいたみを受けたりしてしまいます。</p>
12月	<p>4 情報化した社会とわたしたちの生活</p> <p>2 社会を変える情報</p>	<p>『インターネット、電子メール』      インターネットによって、世界じゅうのコンピューターをあみの目のようにつないでいます。また、インターネットを使って、相手と文章のやり取りができます。これが電子メールです。</p> <p>『情報ネットワーク』      多くの情報機器をつないで、情報のやり取りをできるようにするしくみのことです。インターネットもその一つです。受けるだけの一方通行の情報でなく、必要なときは発信もできるように、情報がつながっていることをいいます。</p> <p>『電子化』      今まで紙などに記録されていたものを、パソコン上のデータとして記録することをさします。</p> <p>『個人情報』      氏名、住所、生年月日、以前の記録など、その情報によって特定の人がわかってしまう情報のことです。個人情報がもれると、犯罪にまきこまれるなどの被害[ひがい]につながるおそれがあります。</p> <p>『遠隔[えんかく]医療[いりょう]』      遠くはなれた医師と患者[かんじゃ]との間をインターネットなどでつなぎ、患者[かんじゃ]の情報を伝えて、それをもとに診断[しんだん]や指示などのり診療[しんりょう]を行うことです。</p>

12月	<p>4 情報化した社会とわたしたちの生活</p> <p>3 情報を生かすわたしたち</p>	<p>『ダイレクトメール』        広告を，個人あてに郵便[ゆうびん]などを使って直接送る方法のことです。</p> <p>『ウェブサイト』        インターネットを通して，さまざまな情報を受け取ったり，書きこんだりできます。見たいものを検索くしたり，アドレスを入力したりすると見られます。</p> <p>『メディアリテラシー』        メディアが伝えるたくさんの情報の中から必要な情報を自分で選び出し，活用する能力や技能をいいます。</p>
1月	<p>5 わたしたちの生活と環境[かんきょう]</p> <p>1 わたしたちの生活と森林</p>	<p>『世界遺産[いさん]』        世界じゅうの人々に大切にされるべき場所のことで，自然遺産[いさん]，文化遺産[ぶんかいさん]，それらの両方の複合遺産の三つに分けられます。        ・白神山地</p> <p>『国有林』        国のもっている林を国有林といいます。2005年現在，国有林の面積は森林全体のおよそ30%をしめています。</p> <p>『人工林と天然林』        人の手で植林したものを人工林，自然にできたものを天然林とよんで区別します。</p> <p>『林業』        なえ木を植えて育て，木を切って売ることを林業といいます。現在，国産の木材が見直され始めています。間ばつされた木を木材として使い，木材の自給率をあげることが求められています。</p>
1月	<p>5 わたしたちの生活と環境</p> <p>2 環境[かんきょう]を守るわたしたち</p>	<p>『BOD(ビーオーディー)』        川などのよごれの程度を表す値です。数字が大きいほどよごれています。</p> <p>『高度経済[けいざい]成長』        日本では，1950年代後半から約20年間，国内での生産や消費が大きくのび，国民の生活はどんどん便利になりました。その一方で，環境[かんきょう]はかいなどの問題も起こりました。</p> <p>『条例』        都道府県や市区町村状国の法律[ほうりつ]とは別につくることができるきまりのこと。地域[ちいき]ごとの人々の願いを実現するために定められます。</p> <p>『京都議定書』        地球温暖化[おんだんか]によって，大気や海水温が少しずつ上がり，環境[かんきょう]に大きなえいき</p>

		<p>ようがあるとされています。世界じゅうの人々で協力して地球温暖化[おんだんか]を防ぐために、まとめられた文章です。</p>
2月	<p>5 わたしたちの生活と環境[かんきょう]</p> <p>3 自然災害を防ぐ</p>	<p>【用語】地震[じしん] 噴火[ふんか] 台風・こう水 大雪</p> <p>『土石流』 一度にたくさんの雨がふって、土砂[どしや]が水といっしょに一気に斜面[しやめん]を下る現象です。大きな被害[ひがい]が出ます。</p> <p>『防災』 1960年ごろまで、1000人以上の命が失われる大災害がひんぱんに起きていましたが、防災のための工事などをずっと行ってきたことによって、大きな被害[ひがい]の出る災害が、減ってきています。</p> <p>『復旧作業』</p> <p>【用語】公害－『四大公害病』 ・水俣病[みなまたびよう](熊本[くまもと]・鹿児島県[かごしまけん]) ・イタイイタイ病(富山県) ・四日市ぜんそく(三重県) ・新潟[にいがた]水俣病[みなまたびよう](新潟県[にいがたけん])</p>
3月	<p>◎ 世界とつながる日本</p>	<p>【用語】 アジア州の国々 アフリカ州の国々 ヨーロッパ州の国々 北アメリカ州の国々 南アメリカ州の国々 オセアニア州の国々</p> <p>【用語】 主な貿易品目 自動車 鉄鋼[てつこう] プラスチック 集積回路 自動車部品 精密[せいみつ]機械 内燃機関 船舶[せんぱく] VTR コンピューター 二輪自動車 原油 液化天然ガス 衣類 魚かい類 医薬品 肉類 木材 野菜</p>

# 社会『小6』 指導カリキュラム (指導語い・表現)一覧表

教科 社会 小6 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 S3 中級指導 S4 上級指導
4月	1 日本の歴史  1 縄文[じょうもん]のむらから古墳[こふん]のくにへ	<p>【用語】 縄文[じょうもん]時代 たて穴住居 さまざまな道具(石や木や動物の骨・角など) 縄文[じょうもん]土器 貝塚[かいづか](食料として食べた貝がらや動物の骨を捨てる場所)</p> <p>【用語】 弥生[やよい]時代 弥生[やよい]土器 木製のくわ 石包丁</p> <p>『米づくり』 日本には2300年以上前に伝わったといわれています。米は、ひとつぶから10倍以上の収穫[しゅうかく]が得られ、保存性も高く、栄養もあるので、人々の生活の安定に役立ちました。</p> <p>『むらからくにへ』 【用語】 豪族[ごうぞく] 鉄器 青銅器 麻[あさ]や絹でつくった布 丸木舟[まるきぶね] 南方の貝でつくったうで輪 鉄製の小刀 銅剣[どうけん] 銅鐸[どうたく] 卑弥呼[ひみこ] 邪馬台国[やまたいこく]</p> <p>『渡来人[とらいじん]』 渡来人[とらいじん]は、中国や朝鮮[ちょうせん]半島などから日本にわたり、蚕・はた織り・鍛冶[かじ]などの技術や、筆・紙・酒などをつくる方法を新たに日本に伝えました。漢字や仏教を伝えたのも渡来人[とらいじん]です。</p> <p>【用語】 大仙[だいせん](仁徳陵[にんとくりょう])古墳[こふん] 前方後円墳[こうえんふん] 円墳[えんふん] 方墳[ほうふん] はにわ</p> <p>『古墳[こふん]』 その大きさや副葬品[ふくそうひん]などから、古墳[こふん]にほうむられた人物の力の大きさが想像されます。特に巨大[きよだい]な古墳[こふん]は、近畿[きんき]地方に多く見られます。</p> <p>『大和[やまと]朝廷[ちやうてい]と国土の統一』</p> <p>『大和[やまと]朝廷[ちやうてい]』 大和[やまと]地方の豪族[ごうぞく]たちが4世紀ごろに大王を中心にまとまってつくった国の政府です。大和[やまと]朝廷[ちやうてい]が各地に勢力を広げるのにもなって、国としての日本の形がしだいにできあがっていきました。</p> <p>【用語】 「古事記」, 「日本書紀」, 「風土記[ふどき]」(8世紀ごろ)</p>

- 5月
- 1 日本の歴史
  - 2 天皇中心の国づくり

【用語】 聖徳太子 摂政[せっしょう] 遣隋使[けんずいし]—小野妹子

『冠位十二階[かんいじゅうにかい]』  
家柄[いえがら]や出身地に関係なく能力や功績で役人を取り立てる。

『十七条の憲法』

政治を行う役人の心構えなどが書かれてあり、太子の政治の理想がわかります。

第1条 人の和を第一にしなければなりません。

第2条 仏教をあつく信仰[しんこう]しなさい。

第3条 天皇の命令は必ず守りなさい。

第12条 地方の役人が勝手に、みつぎ物を受け取ってははいけません。

『法隆寺[ほうりゅうじ](世界文化遺産)』  
仏教の教えを人々の間に広めようとした。

『世界遺産』

世界遺産条約にもとづき、人類共通の宝物として、次の世代に伝えていかななくてはならない文化財や自然環境[かんきょう]が登録されています。

『大化の改新』

蘇我[そが]氏 ←→ 中大兄皇子(後の天智[てんち]天皇)と中臣鎌足[なかとみのかまたり](後の藤原鎌足[ふじわらのかまたり])

『税』

租—稲[いね]の収穫高[しゅうかくだか]の約3%を納める。

調—織物や地方の特産物を納める。

庸[よう]—一年間に10日都で働くか布を納める。

『天皇』

7世紀のころから、それまでの大王からよび名が変わっていきました。神話では、国をつくった神々の子孫とされており、その地位は時代をこえて続きました。

【用語】 平城京(奈良[なら]) 聖武天皇 国分寺 東大寺 正倉院(世界文化遺産)  
奈良[なら]の大仏、東大寺大仏殿[だいぶつでん](世界文化遺産)

『仏教』

病気や自然災害など、人の力がおよばないようなできごとから国を守るために、朝廷[ちやうてい]を中心に広く信仰[しんこう]されました。世界の三大宗教の一つとされ、アジアを中心に多くの信者がいます。

『大仏づくり』

開眼式(完成式典)は、中国やインドから位の高い僧[そう]が招かれ、1万人以上の人に参加しました。国をあげての一大事業にふさわしく、せい大ではなやかなものだったようです。

『大陸の文化』

中国は、古くから西アジアやヨーロッパと交易などでつながりがありました。島国の日本は、使者や留学生を中国に送ることで、大陸の文化を取り入れていったのです。

『貴族のくらし』

【用語】 平安京(京都府) 平安時代 藤原道長[ふじわらのみちなが] 寝殿造[しんでんづくり]  
平等院鳳凰堂[ほうおうどう](世界文化遺産) かな文字 小倉百人一首  
大和絵[やまとえ] 束帯(男性の服装) 十二単[じゅうにひとえ](女性の服装) 蹴鞠[けまり]  
紫式部[むらさきしきぶ]—源氏物語 清少納言—枕草子[まくらのそうし]

『貴族』

一族が代々、朝廷[ちやうてい]で高い位につき、政治を行いました。年中行事などの儀式[ぎしき]をとり行うことが多かったため、教養や作法などを身につけ、この時代の文化をつくっていきました。

『日本風の文化』

この時代に、これまでの大陸の文化を取りこんで、新たに日本の風土にあった文化が生まれました。そのため現在まで受けつがれているものも多く残されています。

- 6月 1 日本の歴史  
3 武士の世の中へ

【用語】 平氏—平清盛 厳島神社(広島県廿日市市[はつかいちし]、世界文化遺産、国宝)  
源氏—源頼朝[みなもとのよりとも] 源義経(頼朝[よりとも]の弟) 鎌倉[かまくら]幕府  
「いざ鎌倉[かまくら]」 御成敗式目[ごせいばいしきもく](武士の裁判の基準となる法律)

『武士』

武芸を職業として朝廷[ちやうてい]や貴族に仕え、合戦や警備などに当たりました。やがて、地方の反乱や都の権力争いのなかで勢力をのばし、この後700年ほど続く武士の世の中を築き始めました。

『征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]』

鎌倉[かまくら]幕府を開いた頼朝[よりとも]が任命された後は、武士をまとめていく最高の地位として引きつがれていきました。この後の武士の世の中では、將軍とは征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]のことを指すようになりました。

『「ご恩」と「奉公[ほうこう]』』

幕府は、武士の大切な領地を保護し、ときには新しくあたえました。武士は、幕府のために領地に見合ったさまざまな働きをしました。領地を中心に幕府と武士の関係は成り立っていったのです。

『一所懸命[いっしょけんめい]』

		<p>武士にとって領地は一族の生活がかかった大切なものだったので、命をかけて守りました。また、戦いの場では手がらを立てて恩賞を得るために命がけで働きました。</p> <p>『元寇[げんこう]』 元の大軍が2度にわたり九州北部にせめてきました。</p>
6月	<p>1 日本の歴史</p> <p>4 今に伝わる 室町[むろまち]文化</p>	<p>【用語】 室町[むろまち]幕府      3代将軍－足利義満      金閣(京都市, 世界文化遺産) 8代将軍－足利義政      銀閣(京都市, 世界文化遺産)</p> <p>『書院造』 住宅の中で客をもてなすための専用の部屋のつくりとして発達しました。日本の文化に合ったつくりなので、長く受けつがれ、現在の和室のもとになっています。</p> <p>『茶の湯』 茶会の席での作法なども、この時代からしだいに形づくられていき、現代の茶道[きどう]へとつながっています。</p> <p>『生け花』 この時代に発達した生け花は、その後も発展し、現代ではさまざまな流派があります。</p> <p>『すみ絵(水墨画[すいぼくが])』 一雪舟[せっしゃう] 中国で生まれ、日本には禅宗[ぜんしゅう]とともに伝えられたので、寺でさかんにえがわれました。独特の技法でかかれた絵は、アジア文化の特徴[とくちょう]をよく表すものとして、海外でも高く評価されています。</p> <p>『能(無形文化遺産)』 少ない人数で、役者の言葉と動きを中心に道具などをほとんど使わずに演じられます。 ・狂言[きょうげん](無形文化遺産)</p> <p>『御伽草子[おとぎぞうし]』 「ものぐさ太郎」など、現在でも知られている話も多くあります。</p>
7月	<p>1 日本の歴史</p> <p>5 戦国の世から 江戸[えど]の世へ</p>	<p>【用語】 戦国大名      織田信長      安土城[あづちじょう]      天下布武 キリスト教を保護－フランシスコ・ザビエル      南蛮[なんばん]貿易</p> <p>『全国統一』 全国統一を目指した武将の多くは、まず京都を目指しました。自分の力を室町[むろまち]幕府や朝廷[ちようてい]によって認めてもらうためです。尾張[おわり]を拠点[きょてん]とした織田信長は、京都に近い位置にいたので有利でした。</p> <p>『楽市・楽座』 城下町ではだれでも商売ができ、市場の税や関所をなくす。</p>

### 『鉄砲[てっぽう]』

当時の戦いのあり方を大きく変えたといわれ、非常に高価なものでした。その威力[いりょく]に目をつけた信長[おさ]は鉄砲[てっぽう]の産地や貿易港を支配することで、ほかの大名よりもずっと多くの鉄砲[てっぽう]を手に入れました。

【用語】 豊臣秀吉[ひでよし] 大阪城[おおさかじょう] 関白 石見銀山(島根県大田市, 世界文化遺産)

武士と百姓[ひゃくしょう]・町人(商人や職人)という身分の区別

### 『検地と刀狩[かたながり]』

戦国の世では、百姓[ひゃくしょう]などの領民も戦いに加わり、武士との身分のちがいはそれほど厳密ではありませんでした。しかし、検地と刀狩[かたながり]によって武士との身分のちがいが明確にされ、身分の固定化がはかられました。

### 『百姓[ひゃくしょう]』

もともとは貴族以外の一般[いっばん]の人々という意味でした。武士が登場すると、しだいに農業や漁業などを営み、年貢[ねんぐ](税)などを納める人々を指すようになりました。そして秀吉[ひでよし]の時代に、村に住み、農業、林業や漁業に従事する人々の身分を指す言葉になりました。

【用語】 江戸城[えどじょう] 関ヶ原(岐阜県[ぎふけん])の戦い-天下分け目の戦い  
日光東照宮[とうしょうぐう] 陽明門(栃木県[とちぎけん])日光市, 世界文化遺産, 国宝)  
キリスト教の禁止 絵踏み

### 『徳川家康』

1603年 征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]に任じられ、江戸[えど](東京都)に幕府を開きました。

### 『江戸[えど]幕府』

征夷大將軍[せいいたいしょうぐん]を中心とする武士の政権を幕府といい、鎌倉[かまくら]幕府, 室町[むろまち]幕府, 江戸[えど]幕府があります。江戸幕府は、強い力を社会におよぼし、最も長く続きました。

### 『武家諸法度[ぶけしよはつど](部分要約)』

大名は、毎年4月に参勤交代すること。近ごろは、参勤交代の人数が多すぎるので、少なくすること。  
自分の領地の城を修理する場合、届け出ること。  
將軍の許可なしに、大名の家どうしで結婚[けっこん]してはいけない。  
大きな船をつくってはいけない。

### 『参勤交代』

派手な大名行列は、民衆に大名の威厳[いげん]を見せつけましたが、各藩[かくはん]の財政は苦しくなりました。一方、参勤交代に使われる費用によって、江戸[えど]や街道[かいどう]の宿場町は栄えました。

『身分』

江戸[えど]時代には、身分によって、職業や住む場所のほか、税などの負担が決められていました。それらは親から子へと代々引きつがれていきました。

『鎖国[さこく]』

外国との貿易や交渉[こうしょう]を行う場所を厳しく制限したため、貿易で得られる利益や海外からの情報などは、幕府がほぼ独占[どくせん]することになりました。鎖国[さこく]はこの後200年以上続くことになりました。

『出島』

長崎[ながさき]の港につくられた人工の島で、オランダとの貿易の場所になりました。

『歌に見る3人の武将の全国統一』

「織田がつき羽柴[はしば]がこねし天下もちすわりしままに食ふは徳川」

後の時代に、3人の武将による全国統一の様子は、上のような歌によられました。

新しい戦い方を用いて武力で統一を進めた信長、検地や刀狩[かたながり]など知恵[ちえ]を働かせて社会のしくみをつくった秀吉[ひでよし]、天下を取るチャンスを最後までじっと待ち、250年以上続く江戸[えど]幕府を築いた家康と、3人の果たした仕事の様子をよんだ歌になっています。

- 9月
- 1 日本の歴史
  - 6 江戸[えど]の文化と新しい学問

【用語】 杉田[すぎた]玄白[げんぱく]・前野良沢[りょうたく]「解体新書」 伊能[いのう]忠敬「日本地図」  
国学一本居宣長「古事記伝」

『歌舞伎[かぶき]』

歌舞伎[かぶき]の発展を支えたのが、この時代の町人で、芝居[しばい]小屋に行ったり、ひいきの役者の浮世絵[うきよえ]を買ったりしました。大名にお金を貸すほど大きな財産をたくわえた商人のなかには、ひいきの役者に金銭[ぜに]的な援助[えんじょ]をする例もありました。

『浮世絵[うきよえ]』

美しい多色刷りの版画は、広重などの絵師のほか、色ごとに分けるための下絵をかく人、版木をほる人、重ね刷りをする人など、多くの人々に支えられていました。

『蘭学[らながく](西洋の学問)』

当時、ヨーロッパの新しい知識や技術は、オランダを通じて日本に伝わりました。日本の各分野の発展にとっても役立ちましたが、幕府の政治を批判するようなものは厳しく禁じられました。

『百姓[ひやくしょう]一撲・打ちこわし』

ききんなどの社会不安や物価の上昇[じょうしょう]で生活が苦しくなった百姓[ひやくしょう]や町人などが起こしました。参加者は重いばつを受けましたが、幕府や藩[はん]の力の弱まりとともに件数が増えていきました。

9月 1 日本の歴史  
7 明治の国づくり  
を進めた人々

【用語】 ペリーの来航 1854年－日米和親条約 勝海舟[かつかいしゅう]  
明治維新[いしん] 1868年－五箇条[かじょう]の御誓文[ごせいもん]  
大久保利通 西郷隆盛[たかもり] 木戸孝允[たかよし] 大隈[おおくま]重信  
伊藤博文 国会開設 貴族院と衆議院

『開国』

開国には強い反対が、起こりました。反対派の一部は、外国の強大な力を実感すると、開国に反対するよりも外国に対抗[たいこう]する国づくりを第一に考えるようになり、方針を倒幕[とうばく]へと変えていきました。

『富国強兵』

欧米[おうべい]諸国に早く追いつくためにも、経力と軍事力の強化に重点を置いた政治が行われました。社会は共通の目標に向かって進む一方、急速な改革による不満も起こりました。

- ・殖産[しょくさん]興業－製糸、紡績[ぼうせき]、兵器製造などで、国が運営する官営工場を開きました。
- ・地租[ちそ]改正－土地に対する税のしくみを改めました。
- ・徴兵令[ちょうへいれい]－20才になった男子は3年間、軍隊に入ることを義務づけました。

『文明開化』

欧米[おうべい]諸国に追いつこうという意識は、生活や文化の面にも強くおよびました。都市部を中心に急激な変化が起こりましたが、西洋風のものであれば何でもよいとするような面もありました。

『福沢[ふくざわ]諭吉[ゆきち]「学問のすすめ」』

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」

『岡倉[おかくら]天心』

日本美術の価値を見いだした

『西南戦争』

徴兵令[ちょうへいれい]によって集められ、進んだ武器を持った政府軍に、士族からなる西郷軍は敗れました。

『自由民権運動』－板垣[いたがき]退助

明治維新[いしん]の改革はすべて政府が中心となって行い、国民は政府の方針に従うものとされてきました。人々は、社会に起きたいろいろな問題を解決するためにも、自分たちも政治に参加することを要求しました。

『大日本帝国[ていこく]憲法』

アジアの国々に先がけて行われた憲法の発布と国会の開設によって、欧米[おうべい]諸国のような近代的な国の体制が整えられました。

10月 1 日本の歴史  
8 世界に歩み出した日本

【用語】 ノルマントン号事件(イギリス) エルトウールル号のそなん者を救った大島の人々(トルコ)

陸奥[むつ]宗光(外務大臣) 日清戦争 1894年 日露[にちろ]戦争 1904年  
韓国[かんこく]併合[へいごう] 1910年 小村寿太郎[じゅたろう](外務大臣)  
関税自主権の回復 新渡戸[にとべ]稲造[いなぞう]—国際連盟 事務局次長

『紡績[ぼうせき]』

動物や植物などから繊維[せんい]を取り出して加工し、糸にすることを紡績[ぼうせき]といいます。

『不平等条約』

欧米[おうべい]諸国は、外国から多くの利益を得るために自分たちに有利な条約を結ばせていました。条約の改正に苦勞した日本ですが朝鮮[ちょうせん]に対しては逆に不平等な条約をおしつけました。

『条約改正』

(関税自主権)—外国からの輸入品にかかる税金を自由に決める権利

(領事裁判権)—外国人が日本国内で罪をおかしても、日本の法律ではさばくことができないもの

『植民地』

産業が発達した欧米[おうべい]諸国は、資源や市場を求めて、アジアやアフリカの各国に進出し、自国の植民地としました。政府は日本が、植民地になることをおそれるとともに、自らも欧米[おうべい]諸国にならって、大陸への進出をくわだてるようになりました。

『与謝野[よさの]晶子[あきこ]』

「君死にたまふことなかれ」—戦場の弟を思う詩を発表して、戦争に反対する気持ちを表しました。

『独立運動』

植民地とされた国では、政治的、経済的な面で不利なあつかいを受けたり、自国の伝統や文化を禁じられたりされたりすることも多く、人々は独立を求めて立ち上がりました。

『世界で活やくした日本人』

北里柴三郎[しばさぶろう]—破傷風 志賀潔—赤痢[せきり]菌[きん] 野口英世—原因のわからなかった病気の病原体を研究

『国際社会』

開国後、外国人教師が日本に來たり、日本人が欧米[おうべい]諸国に留学したりと、文化や学問の面でも国をこえての交流がさかんになりました。それによって科学技術や産業も進歩しました。

『新しい文学』

(小説) 夏目漱石[そうせき] 樋口一葉

(詩や短歌・俳句) 与謝野[よきの]晶子[あきこ] 正岡[まさおか]子規

『田中正造と足尾[あしお]銅山』

明治時代の中ごろから、足尾[あしお]銅山(栃木県[とちぎけん])の工場から出る有毒なけむりや廃水[はいすい]が、山林をからし、田畑や川の魚に大きな被害[ひがい]をもたらすなど、周辺の農民の生活への深刻なえいきょうが目立ち始めました。衆議院議員の田中正造は、足尾[あしお]銅山の仕事をやめるように政府に何度もうったえるなど、農民の生活を守るために献身的[けんしんてき]な努力をしました。

『民主主義』

教育が広まり、生活が豊かになってくると、人々の民主主義への意識が高まり、社会的な権利を主張する動きがさかんになっていきました。政府は、こうした動きを警戒[けいがい]し、運動を取りしめるための法律を定めました。

『関東大震災[だいしんさい]』

1923年9月1日、関東地方南部で大きな地震[じしん]が起き、東京、横浜[よこはま]などで、こわれた家約21万戸、焼けた家約21万戸、死者・行方[ゆくえ]不明者約11万人もの被害[ひがい]が出ました。また、震災[しんさい]の混乱のなかで、朝鮮人[ちょうせんじん]が暴動を起こすといううわさが流され、多数の朝鮮人[ちょうせんじん]や中国人が殺される事件が起きました。

『女性運動』

平塚[ひらつか]らいてうや市川房枝[ふさえ]らは新婦人協会を設立し、選挙権などの権利の獲得[かくとく]、女性や母親の権利を守る運動を行いました。

『全国水平社』

明治に入って身分制度が改められてからも、就職や結婚[けっこん]などで差別され、苦しめられてきた人々は差別をなくす運動に立ち上がりました。

11月 1 日本の歴史  
9 長く続いた戦争  
と人々の暮らし

【用語】 原爆[げんぱく]ドーム(世界文化遺産) 満州事変 1931 (昭和6)  
国際連盟からの脱退[だつたい]

『満州』

日本の多くの会社が進出し、また資源を手に入れたり、軍事的な拠点[きょてん]としたりするなど、さまざまな面から日本の「生命線」と考えられていました。

『太平洋戦争』

東南アジアの多くがヨーロッパの植民地だったので、日本はヨーロッパの戦争を機に、これらの地域に軍を進め、資源の獲得[かくとく]を目指しました。このことがアメリカとの戦争につながり、戦争が世界じゅうに広がりました。

『戦時体制』

非常時として、国民が一丸となって戦争に協力することを求められました。また、これによって政

府に対する国民の不満などもおさえつけられました。

『戦争中の標語』

- ・アジアは一家 日本は柱
- ・草の根をかむとも 倒せ[たおせ]米と英
- ・欲しがりません 勝つまでは
- ・ぼくらは戦う 職場の戦士

『空襲[くうしゅう]』

住宅地への爆撃[ばくげき]が行われたことで、それまでの戦争とは異なり、兵士以外の人々がたくさん犠牲になりました。太平洋戦争では、約60万人が空襲[くうしゅう]でなくなりました。

『原子爆弾[ばくだん]の投下』

1945年8月6日に広島，9日には長崎[ながさき]

『8月15日』

悲惨な戦争を二度と起こさないことをちかい，平和をいのるための「終戦の日」です。全国戦没者追悼式などがこの日に行われ，戦争の記憶を語りつぐさまざまな取り組みがされています。

11月 1 日本の歴史

10 新しい日本，  
平和な日本へ

【用語】 日本国憲法 国際連合への加盟(1956年) 高度経済成長  
日中平和友好条約の調印(1978年) 北方領土，四つの島 北朝鮮[きたちょうせん]  
拉致[らち]被害者[ひがいしゃ] アメリカ軍基地が残る沖縄[おきなわ]

『戦後改革』

民主主義にもとづく現在の政治や社会のしくみの多くは，このときの改革でつくられました。憲法の三原則(国民主権・基本的人権の尊重・平和主義)も，このときに定められました。

『朝鮮[ちょうせん]戦争』

1950年，韓国[かんこく]と北朝鮮[きたちょうせん]の間に戦争が起こりました。

『サンフランシスコ平和条約に調印(1951年)』

アメリカで開かれた講和会議で，48か国と平和条約を結んで独立を回復しました。しかし，中国は招待されず，ソ連ポーランドなどは調印をこぼみ，インド，ビルマ(現・ミャンマー)などは欠席しました。

『「もはや戦後ではない」』

1956年の「経済白書」は，復興の時期は終わったとして，このような表現をしました。

『三種の神器』

テレビ，電気冷蔵庫，電気洗濯機[せんたくき]。

		<p>『東京オリンピック 1964 (昭和39)年』          外国から来る大勢の選手や観客をむかえるために、さまざまな施設[しせつ]や交通機関が建築・整備されました。オリンピックの開催[かいさい]は好景気をもたらすと同時に、戦後の復興を人々に実感させました。</p> <p>『3C』          カー, クーラー, カラーテレビ</p>
12月	<p>2 わたしたちの生活と政治</p> <p>1 わたしたちの願いを実現する政治</p> <p>国の政治1 『国会』</p> <p>国の政治2 『内閣』</p>	<p>『市役所』          地域の住民のためにさまざまな仕事を行っています。住民の声を受けて、それを実行するための計画をつくったり、議会で決められたことを実行したりします。町や村では役場といわれるのが一般的[いっぱんてき]です。</p> <p>『市議会の仕事』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例を制定, 改正, 廃止[はいし]すること</li> <li>・ 市の予算を決めること</li> <li>・ 市の税金を決めること</li> </ul> <p>『税金』          住民や会社の資産, いろいろな活動によって得た収入などに対してかけられます。国や市が行う仕事の大半は税金でまかなわれており, わたしたちには納税の義務があります。</p> <p>『国会—衆議院と参議院』          国会で決められる予算や法律は, わたしたちの日常生活のなかのいろいろな場面にかかわってきます。そのため, 国会でどんな話し合いがされ, どんな予算や法律が決められているかに, 関心をもつことが大切です。</p> <p>『国会の働き』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内閣総理大臣を選ぶ。</li> <li>・ 内閣を信任しないことを決める(衆議院)。</li> <li>・ 国の予算を, 話し合って決める。</li> <li>・ 国の法律をつくる。</li> <li>・ 外国と結んだ条約を承認[しょうにん]する。</li> <li>・ 裁判官を裁く裁判所をつくる。</li> </ul> <p>『内閣』          首相[しゅしょう]は, 多くの場合, 衆議院で多数をしめた政党から選ばれます。首相[しゅしょう]を中心とした内閣が交代すると, 政治の方針も変わることがあります。そうした意味でも, 選挙でのわたしたちの判断が大切になってきます。</p>

### 国の政治3『裁判所』

#### 『文部科学省の主な仕事』

- ・学校でどんな勉強を，どのくらいするか決める。
- ・学校で使われる教科書が正しく書かれているかを点検する。
- ・学校の先生の数や建物の基準を決める。
- ・科学の研究が発展する環境[かんきょう]を整える。
- ・スポーツをさかんにする環境[かんきょう]を整える。

#### 『裁判所』

生活をするのに不利益なことがあったり，話し合いで解決できないことがあったりする場合にも裁判が起こされます。法律がきちんと守られ，わたしたちが安心してくらすしていくためにも，裁判所の仕事は重要です。

#### 『国会・内閣・裁判所の仕事の分担』

国会・内閣・裁判所は，それぞれ立法・行政・司法とよばれ，国の政治のだいじな仕事を分担して進めています。また，それぞれの機関が独立し，おたがいの仕事を監視[かんし]することで，権力が一つの機関に集中しないようになっています。

#### 『国民の祝日』

1月1日 元日

年の始めを祝う。

1月の第2月曜日 成人の日

大人になったことを自覚し，自分自身のかで生きていこうとする若者を祝いあげます。

2月11日 建国記念の日

国がつくられた昔を思い，国を愛する心を養う。

3月21日ごろ 春分の日

自然をたたえ，生物をだいじにする。

4月29日 昭和の日

激動の日々をこえ，復興をとげた昭和の時代をふり返し，国の将来を思う。

5月3日 憲法記念日

日本国憲法の施行[しこう]を記念し，国の成長を願う。

5月4日 みどりの日

自然に親しむとともにそのめぐみに感謝し，豊かな心をはぐくむ。

5月5日 こどもの日

子どもの人格を重んじ，子どもの幸福が実現されるよう努力するとともに，母に感謝する。

7月の第3月曜日 海の日

海のめぐみに感謝するとともに，海洋国日本の繁栄[はんえい]を願う。

9月の第3月曜日 敬老の日

長い間社会につくしてきたお年寄りを敬愛し，長生きを祝う。

9月23日ごろ 秋分の日

祖先を敬い，なくなった人を思い出す。  
10月の第2月曜日 体育の日  
スポーツに親しみ，健康な心身を育てる。  
11月3日 文化の日  
自由と平和を愛し，文化をよりよいものにする。  
12月23日 天皇誕生日  
天皇の誕生日を祝う。

1月 2 わたしたちの生活と政治

『ユニバーサルデザイン』  
すべての人にとって使いやすい形や機能を考えたデザインのことです。

2 わたしたちのくらしと日本国憲法

『日本国憲法』  
国の基本的なあり方を定めており，すべての法やきまりは憲法にもとづいています。日本で憲法の内容を改める場合には，国会での議決に加えて国民による投票が必要になります。

『三つの原則』  
基本的人権の尊重 国民主権 平和主義

『基本的人権の尊重』  
基本的人権は，人が人間として当然もっている権利で，生まれてから死ぬまですべての国民に保障されています。わたしたち一人ひとりが，個人として尊重されることは，憲法にも記されているのです。

『国民の権利』  
思想や学問の自由 働く人が団結する権利 個人の尊重，男女の平等  
教育を受ける権利 政治に参加する権利(参政権) 言論や集会の自由  
裁判を受ける権利 仕事について働く権利 居住や移転，職業を選ぶ自由  
健康で文化的な生活を営む権利(生存権)

『国民の義務』  
子どもに教育を受けさせる義務  
仕事について働く義務  
税金を納める義務

『国民主権』  
主権とは，国の政治のあり方を最終的に決定することで，国民主権とは国民がその役目をこなうことを示しています。そのため，わたしたちは定められた権利をきちんと使うことが求められます。

『平和主義』  
世界では今も戦争や紛争[ふんそう]によって苦しんでいる人々が数多くいます。日本は，国際社会か

		<p>ら、自国だけでなく、ほかの国々の平和を築くために積極的に活動することが期待されています。</p> <p>『非核[ひかく]三原則』 「核兵器[かくへいき]をもたない、つぐらない、もちこませない」</p>
2月	<p>3 世界の中の日本</p> <p>1 日本とつながりの深い国々</p>	<p>『アメリカ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗の意味…赤と白の横線は独立したときの13州、星は現在の州の数(50州)を表しています。</li> <li>・首都…ワシントン</li> <li>・面積…約963万km<sup>2</sup></li> <li>・人口…約3億1800万人(2010年)</li> <li>・主な言語…英語</li> </ul> <p>『人種』</p> <p>人種のちがいに対する偏見[へんけん]が、これまでたくさんの差別や対立などを生んできました。こうした問題をなくそうとする動きは強くなり、現在では人種差別をなくすための世界的な決まりが定められ、人種に関係なく重要な職務につくようになってきています。</p> <p>『自由の女神[めがみ](ニューヨーク、世界文化遺産)』</p> <p>『グローバル化』</p> <p>現代は、インターネットや衛星放送で世界各地のできごとがすぐに伝わり、また国境をこえた活動をしている企業[きぎょう]や団体も多くなっています。そのためある国で起きたことが、ときには全世界にえいきょうすることもあります。</p> <p>『中国』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗の意味…大きな星が中国共産党、小さな星は労働者、農民など</li> <li>・首都…ペキン</li> <li>・面積…約960万km<sup>2</sup></li> <li>・人口…約13億5400万人(2010年)</li> <li>・主な言語…中国語</li> </ul> <p>『民族』</p> <p>世界にはさまざまな民族がいて、それぞれ異なる文化や言語、生活様式をもっています。そのため異なる民族どうしでともにくらしていく場合は、おたがいの文化を尊重する姿勢をもつことがとても大切になってきます。</p> <p>『中国から伝わってきたもの』 お茶      漢方薬      シューマイ      ギョーザ      毛筆書写と漢字</p> <p>『経済特区』</p>

税金や貿易などで優遇[ゆうぐう]されている経済特区には、外国の企業[きぎょう]がたくさん進出しています。経済的に発展を続ける中国は、今後も世界に大きなえいきょう力をもつと考えられています。

#### 『韓国[かんこく]』

- ・国旗の意味…円の赤は陽[ひ]，青は陰[かげ]，白地は平和を愛する心  
四すみの印は天・地・火・水を表しています。
- ・首都…ソウル
- ・面積…約10万km<sup>2</sup>
- ・人口…約4900万人(2010年)
- ・主な言語…韓国語[かんこくご]

#### 『儒教[じゅきょう]』

韓国[かんこく]の人々の間に深く根づいている教えで、上下関係や伝統などを重視します。韓国[かんこく]の人々は家族や国をととても大切にしています。

#### 『南北統一』

日本の植民地支配が終わった1945年にアメリカとソビエト連邦[れんぽう](現ロシア連邦[れんぽう])の対立から朝鮮[ちょうせん]半島が南北に分けられてしまいました。統一への課題はありますが、南北が統一されて、いっしょになることを、多くの人が願っています。

#### 『サウジアラビア』

- ・国旗の意味…イスラム教の聖典であるコーランの一節を示したアラビア語の文字と正義を意味する剣[けん]がえがかれています。
- ・首都…リヤド
- ・面積…約215万km<sup>2</sup>
- ・人口…約2600万人(2010年)
- ・主な言語…アラビア語(公用語)，英語

#### 『石油』

エネルギー源やプラスチックなどの原料としてわたしたちの日常生活に欠かせないものです。世界でもサウジアラビアなど中東とよばれる地域は、産出量が多く、石油の値段などを通じて世界に大きなえいきょう力をもっています。

#### 『イスラム教』

中東諸国の多くの人に信仰[しんこう]されており、信者の守る義務が厳しく定められています。国教がイスラム教のサウジアラビアでは、宗教の指導者が政治的にも大きな力をもつことが多く、宗教と政治が密接に関連しています。

#### 『モスク』

イスラム教の聖地　メッカ

3月	<p>3 世界の中の日本</p> <p>2 世界の未来と日本の役割</p>	<p>『国際協力』  十分な社会環境[かんきょう]が整備されていない国に対し、産業や生活のための援助[えんじょ]を、日本など先進国とよばれる国が行っています。また、政府の活動とは別に、支援[しえん]が必要だと思われる人々のところに行き、現地の人々の助けとなる活動を行う人が増えています。</p> <p>『ODA』  貧しさなどの理由で困っている国の人々の生活をよくするために政府が行う援助[えんじょ]のことです。  青年海外協力隊</p> <p>『NGO(非政府組織)』  各国の政府や国連から独立して活動している民間の団体のことです。その活動は、主に募金[ぼきん]や寄付金、ボランティアなどで支えられています。</p> <p>『国際連合(国連)』  世界の平和と安全を守り、人々の暮らしをよりよいものにするために、1945年に生まれました。現在では、世界の190余りの国のうち、192か国が加盟しています(2009年)。</p> <p>『国連機関』  経済、社会、文化、環境[かんきょう]、人権などの分野で10以上の機関が活動しています。各機関の活動は、国連加盟国からの分担金だけでなく、人々の募金[ぼきん]によってもまかなわれています。</p> <p>『復興支援[しえん]』  戦争や紛争[ふんそう]であった国の復興支援[しえん]では、技術力の高さなどから、日本のさらなる協力活動が求められています。しかし、支援[しえん]活動に危険をとまなう地域もあるなど、難しい問題もあります。</p> <p>『環境[かんきょう]問題』  地球温暖化 熱帯雨林の減少 砂漠化[さばくか] 酸性雨 水や大気のごち</p> <p>『持続可能な社会』  未来にわたって、世界じゅうの人々が豊かな生活を送るためには、よりよい環境[かんきょう]を残していく必要があります。開発を進めながら環境[かんきょう]を守っていくための協力が、世界じゅうで求められています。</p> <p>『国旗・国歌』  世界の国々は、いずれも国旗や国歌をもっています。国旗や国歌には、それぞれの国の人々の願いがこめられています。おたがいの国旗や国歌を重し、大切にあつかうことは、世界共通のルールです。</p>
----	---------------------------------------	--